

◆◆◆◆◆糸山秋子プロフィール◆◆◆◆◆

1966年11月22日東京で生まれる。

新宿高校、早稲田大学政治経済学部経済学科卒業後、住宅設備機器メーカーに入社。
2001年まで、営業職として福岡、名古屋、高崎、大宮に赴任。

1999年 小説を書き始める。

2003年 「イツ・オンリー・トーク」で文学界新人賞を受賞してデビュー。
同作は第129回芥川賞候補となる。

2004年 「袋小路の男」で第30回川端康成文学賞を受賞。
「海の仙人」「勤労感謝の日」がそれぞれ第130回、第131回芥川賞候補となる。

2004年 「袋小路の男」で川端康成文学賞。

2005年 芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞(海の仙人)。

『逃亡くそたわけ』で第133回直木賞候補および第27回野間文芸新人賞候補

2006年 「沖で待つ」で芥川賞受賞。高崎に移住。

2016年 『薄情』(新潮社刊) 谷崎潤一郎賞受賞。

『ばかもの』『妻の超然』『未裔』『不愉快な本の続編』『忘れられたワルツ』『離陸』『御社のチャラ男』
『まっとうな人生』『神と黒蟹県』など著書多数。

今年、デビュー20周年。

【受賞歴】

2003年(平成15年) - 第96回文学界新人賞(『イツ・オンリー・トーク』)

2004年(平成16年) - 第30回川端康成文学賞(『袋小路の男』)

2005年(平成17年) - 第55回芸術選奨文部科学大臣新人賞(『海の仙人』)

2005年(平成17年) - 第134回芥川龍之介賞(『沖で待つ』)

2016年(平成28年) - 第52回谷崎潤一郎賞(『薄情』)

糸山秋子公式サイト: <http://akiko-itoyama.jp/>